

# 段ボール製荷台開発

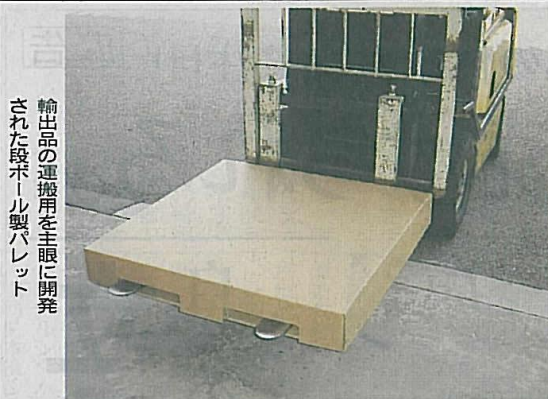
## ジャパンパッケン 輸出企業へ販路開拓

機能性段ボール製造のジャパンパッケン(滑川市北野、長田宏泰社長)は、フォークリフトに取り付ける段ボール製の運搬荷台を開発した。段ボール製はプラスチックや木製より安価で、リサイクルできる。害虫の発生を防止するため、海外の一部で義務化されている燻蒸処理も不要なことから、輸出関連企業への販路を開拓する。

「パレット」と呼ばれる運搬荷台のうち、輸出用は木製が主流になっている。米国やオーストラリアなどでは製品輸送の際、害虫やバクテリアの発生を防ぐため、パレットの燻蒸処理を義務化。輸出関連企業は輸送後に、運賃を支払ってパレットを引き取らなければならなかった。

10トンの荷重に耐えられる。規格が決まっているプラスチックや木製と異なり、商品サイズに合わせて設計でき、積載効率アップにもつながる。

現在、輸出関連企業10社にサンプル出荷中。本格的に市場投入した後は、年間1千個程度の出荷を目指す。



輸出品の運搬用を主眼に開発された段ボール製パレット

開発した「Nパレット」は、段ボールを約180度の高温でプレスするため、燻蒸処理が不要。輸出先でそのまま廃棄したり、リサイクルできる。段ボールが一定方向の力に強い性質を利用して強度を高め、約

### 段ボール製荷台開発

#### ジャパンパッケン 輸出企業へ販路拡大

機能性段ボール製造のジャパンパッケン(滑川市北野、長田宏泰社長)は、フォークリフトに取り付ける段ボール製の運搬荷台を開発した。段ボール製はプラスチックや木製より安価で、リサイクルできる。害虫の発生を防止するため、海外の一部で義務化されている燻蒸(くんじょう)処理も不要なことから、輸出関連企業への販路を開拓する。「パレット」と呼ばれる運搬荷台のうち、輸出用は木製が主流になっている。米国やオーストラリアなどでは製品輸送の際、害虫やバクテリアの発生を防ぐため、パレットの燻蒸処理を義務化。輸出関連企業は輸送後に、運賃を支払ってパレットを引き取らなければならなかった。

開発した「Nパレット」は、段ボールを約180度の高温でプレスするため、燻蒸処理が不要。輸出先でそのまま廃棄したり、リサイクルできる。段ボールが一定方向の力に強い性質を利用して強度を高め、10トンの荷重に耐えられる。規格が決まっているプラスチックや木製と異なり、商品サイズに合わせて設計でき、積載効率アップにもつながる。

現在、輸出関連企業10社にサンプル出荷中。本格的に市場投入した後は、年間1千個程度の出荷を目指す。